

議 事 録	
会 議 名	令和7年第1回豊川警察署協議会
日時・場所	令和7年2月18日 午後3時から午後5時 愛知県豊川警察署
出 席 者	1 委員 9名（定数10名） 櫻井 智科子委員、SUZUKI MARY MARIE 委員 梅村 賀代子委員、岩瀬 崇典委員、紋田 栞里委員 菊地 俊介委員、岩瀬 晴彦委員、渡辺 稔明委員 米谷 景子委員
	2 警察署員 9名 福田署長 杉本副署長 近藤警務課長 與語会計課長 牧野生活安全課長 三浦地域課長 増田刑事課長 坂野交通課長 伊藤警備課長
	3 有識者等 なし
1 委嘱状の交付 署長から再任及び新規委員に対して公安委員からの委嘱状を交付した。 2 会長及び副会長の選出等 委員の互選により、櫻井委員が会長に選出され、会長は岩瀬崇典委員を副会長に指名した。 3 会長挨拶 4 署長挨拶 5 前回答申に対する具体的施策の推進状況 (1) 諮問事項 「高齢者」と「自転車」に重点をおいた交通事故抑止対策 (2) 答申事項 ア 高齢者対策 (ア) 高齢者同士の話し合いや孫世代からの働きかけによる交通安全意識の向上。 (イ) 病院や地域スーパー等における啓発活動を実施し、反射材等を配布する。 イ 自転車対策 (ア) あらゆる啓発活動を通じた改正道路交通法の周知。	

(1) 市役所等とタイアップしたヘルメットの着用しやすい環境づくり。

(3) 推進施策

ア 御油地区における孫世代からの働きかけによる交通安全意識の向上。

イ 病院や地域スーパー等における啓発活動。

ウ あらゆる啓発活動を通じた改正道路交通法の周知。

エ 市役所等とタイアップしたヘルメットの着用しやすい環境づくり。

6 諮問事項

交番等地域警察における情報発信のあり方

7 発言の要旨

- ・ 警察は市民から見ると敷居が高い。
- ・ 交番によっては赤色灯が回転しているところがあるが、犯罪抑止に効果的だと思う。
- ・ 日本と世界の文化は違うので幅広い情報発信が必要である。
- ・ 駐在所の周辺は暗いイメージがある。
- ・ 地域住民は駐在所がそこにあることを知っているが、地域住民以外の人はわからない。
- ・ 交番や駐在所がもっと身近に感じられるような広報が重要ではないか。
- ・ 交番や駐在所勤務の警察官と、地域住民との間でコミュニケーションがとられている感じが薄い。
- ・ 対象に合った時間帯や、具体的な方法を考える必要がある。
- ・ 情報を発信するターゲットによって有効な方法は違うのではないか。
- ・ 発生する犯罪毎に、より具体的な対策について情報発信する必要がある。

8 答申等の概要

(1) 交番活動、交番所在地等を身近に感じられる情報発信

(2) 家族構成、年齢、性別などによりターゲットを絞り、かつ犯罪防止等に関するより具体的な情報発信

9 その他

(1) 速度取締り指針説明

交通課長から速度取締り指針の説明があった。

(2) 次回開催予定

令和7年5月23日